

## 課題・スローガン・活動一覧表（1999～2015年度）

年度	活動上の課題	スローガン	フィールド	主な活動	組織運営等
1999	★里山保全の必要性和組織設立の準備				
2000	★環境関連団体の糾合とNPO法人化の必要性	見て・考えて・行動する		環境ウォッチング（11回） 白井環境講座（1回）	設立総会（4月15日）代表に小川二一氏
2001	★活動するためのフィールドの確保	地権者・行政・市民による里山保全システムの確立！	平塚の里第1地区 合計0.3ha 延命寺・広場	平塚の里保全事業開始（4月） 子どもの環境教育事業開始（10月） 白井環境講座（6回）	NPO法人認証（9月25日）、NPO法人発会式（10月13日）、初代理事長に柳澤巳之輔氏
2002	★間伐材の人力による搬出作業の軽減	地権者・行政・市民による里山保全システムの確立！ 市民の手でモデル事業	平塚の里第1地区 運動公園の森 合計2.3ha	里山保全事業 神々廻の森保全受託事業 子どもの環境教育事業 ごみマップ作成受託事業 講座、講習会、写真パネル展	軽自動車購入 舞岡公園、小金高校ピオトーブ視察
2003	★大量に発生する間伐材の処理	保全すればするほど大量に発生する間伐材の有効活用！「燃やす」、「捨てる」から「生かす」、「利用する」へ！	平塚の里第1～2地区 運動公園の森 神々廻の森 第三小の森 合計4.3ha	里山保全事業 子どもの環境教育（10回） カメ救出作戦（東邦大学との協働事業） 竹炭焼開始（9月23日）	中型チップパー購入、炭窯2基・倉庫設置 桜宮自然公園・墨田区雨水資料館視察
2004	★耕作放棄地対策としての農業支援活動の立ち上げ ★竹炭・竹酢液の販売	里山を生かしたまちづくりモデル事業（平塚地区） —「点」から「面」への事業展開—	平塚の里第1～3、運動公園の森、神々廻の森、ふるさとふれあいパーク等合計6ha	里山保全事業 子どもの環境教育（11回） カメ救出作戦2004 講座・講習会	中型トラック購入 竹炭・竹酢液販売開始（10月23日） 第2代理事長増木豊
2005	★5周年事業 ★活動資金調達	里山を生かしたまちづくり事業2005 —平塚の里・運動公園の森モデル事業—	平塚の里第1～6、運動公園の森、神々廻の森、ふるさとふれあいパーク等 合計6.8ha	里山保全事業 農業支援活動開始（トラクター運転講習、耕作放棄地の農地復元等） 環境教育・カメ救出作戦	5周年記念事業（竹笛コンサート、記念式、記念フォーラム等10月8日）
2006	★整備したフィールドの利活用	里山を生かしたまちづくり事業2006 —平塚の里・運動公園の森モデル事業—	平塚の里第1～8、運動公園の森等 合計6.8ha。 ザ・ファーム平塚等 合計1.9ha	里山保全事業 農業支援活動 子どもの環境教育（12回） カメ救出作戦2006	フィールドの利活用（絵図の作成、森の音楽会の開催、流しそうめん、石窯の設置等）
2007	★生物多様性の確保 ★里山保全モデル事業を北総全域に！	里山を生かしたまちづくり事業2007 —平塚の里・運動公園の森モデル事業—	平塚の里第1～10、運動公園の森等 合計6.8ha。 ザ・ファーム平塚等 合計2.3ha	里山保全事業（平塚西地区開始） 農業支援活動 スタッフ養成講座開始 味噌づくり開始	竹工芸・キノコ栽培部門新設。フィールドの利活用（絵画展等） 北総里山クラブ結成に参加
2008	★「里山の生き物復活作戦」の実践	里山を生かしたまちづくり事業2008 —里山の生き物復活作戦—	平塚の里第1～10、同西地区、運動公園の森等合計7ha。 ザ・ファーム平塚等 合計2.5ha	里山保全事業 不耕起移植栽培・冬期湛水開始・田んぼの学校開校（5回） 農業体験、炭焼、竹工芸講座 保育園児対象に食育開始	フィールドの利活用（絵画・写真展、森の音楽会、流しそうめん等） 第3代理事長に河合泰氏
2009	★農業者支援活動（有料） ★持続的に事業展開できる体制づくり	里山を生かしたまちづくり事業2009 —里山の生き物復活作戦・里山景観づくり—	平塚の里第1～10、同西地区、運動公園の森等合計7.2ha。 ザ・ファーム平塚等 合計3ha	新神々廻の森受託事業 田んぼの生きもの調査開始 生きものいっぱい田んぼの学校・環境教育・食育 新規就農者支援	事業部委員会の発足 ワゴン車購入 ぐるっと一周平塚の里（2回） CSR活動の受入れ開始
2010	★10周年記念事業 ★将来ビジョンづくり	里山を生かしたまちづくり事業2010 —里山の生き物復活作戦・里山景観づくり—	平塚の里第1～10、同西地区、運動公園の森等合計7.3ha。 ザ・ファーム平塚等 合計3.6ha	里山保全事業。農業支援活動・農業者支援活動 山王谷津田で井戸を掘り、冬期湛水等開始	10周年記念事業（記念式・記念講演・記念フォーラム等） NTTPCがCSR活動（3回来訪）

年度	活動上の課題	スローガン	フィールド	主な活動	組織運営等
2011	<ul style="list-style-type: none"> <li>★山王谷津田での生きもの復活作戦</li> <li>★フィールドの活用促進</li> </ul>	里山を生かしたまちづくり事業2011「里山の生き物復活作戦・里山景観づくり」。フィールドの活用。東日本大震災・福島第一原発事故から学ぶ。	(フィールドの名称変更) 平塚の里、運動公園の森等7.4ha。ザ・ファーム平塚・神々廻・十倉一等3.6ha	里山保全作業、農業支援活動。山王谷津田冬季湛水・無農薬稲作で「生きもの復活作戦」。半地下大谷石作り炭窯の稼働	田園自然再生活動コンクール等ダブル受賞。森の音楽会(11月)。しろい環境塾事務所開設。新HP公開
2012	<ul style="list-style-type: none"> <li>★「事業目的」達成に向けてのビジョン作り</li> <li>★白井市平塚田園自然再生活用協議会設立</li> </ul>	里山を生かしたまちづくり事業2012-田園自然再生・里山の生きもの復活作戦	平塚の里、運動公園の森等7.4ha。ザ・ファーム平塚・神々廻・十倉一等3.6ha	里山保全事業。農業支援活動・農業者支援活動、山王谷津田で冬水田んぼ「生きもの復活作戦」の継続	NPO法改正により登記変更(理事、事務所等)。平塚事務補助員採用。平塚協議会の「食と地域の交流促進事業」始まる。
2013	<ul style="list-style-type: none"> <li>★「持続可能な事業展開」への体制作り。</li> <li>★各事業部の自立。</li> <li>★事務局体制の改革</li> </ul>	里山を生かしたまちづくり事業2013-田園自然再生・里山の生きもの復活作戦。食と地域の交流促進事業の実行	平塚の里、運動公園の森等7.4ha。ザ・ファーム平塚・神々廻・十倉一等3.6ha	「食と音楽の里山まつりin平塚」開催(10月)。耕作放棄地の復元。里山保全と植樹。田んぼの学校・子どもの食育。	定例作業日(週3日)およびそれ以外の作業に参加した会員数:年間延べ4,233名。
2014	<ul style="list-style-type: none"> <li>★耕作放棄地の復元</li> <li>★高齢農業者への支援</li> <li>★体験型農園の促進・支援</li> </ul>	里山を生かしたまちづくり。地域活性化への取り組み、耕作放棄地の再生活用、生きもの復活作戦、市民交流の促進。	運動公園等受託管理地5.7ha、その他農地竹林等を加えて、13ha。	第2回「里山まつり」の実施 ふれあいパークでは、樹木名札の掲載、植樹。竹細工チームの江原グループへの竹トンボ指導。	実活動日143日、参加人数3,717名。作業内容により作業日(週3日)以外に実働あり。 平均参加人数26名/日
2015	<ul style="list-style-type: none"> <li>★管理体制や事務処理体制の煩雑化。</li> <li>★環境塾の意義や目的意識の希薄化傾向。</li> <li>★地元平塚地域のルールやマナーの希薄化。</li> </ul>	里山を生かしたまちづくり。耕作放棄地の再生活用。谷津田の再生と生きもの復活作戦。市民交流の促進。	ふれあいパーク遊歩道にベンチ設置と整備。分校南斜面桜を植樹。	景観まちづくりフォーラム開催123名の参加。 第3回「里山まつり」251名参加。「田んぼの学校」「カメの観察会」他で参加者507名。	任意団体チームSUU-DEENから、農業支援部の水田チームに。新役員の選任。活動日141日。活動参加人数4060人、平均28人/日。